

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111B016		家庭科指導法(小) (Pedagogy of Home Economics(Elementary School))															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
必修	2	2	教育学部			氏名 財津 庸子・都甲 由紀子 E-mail 財津 : yzaitso@oita-u.ac.jp, 都甲 : togo-yukiko@oita-u.ac.jp 内線 財津 : 7601											
授業の概要	小学校家庭科の目標や内容構成、家庭科の特徴など全体像を把握し、教材研究の方法と学習指導構想の具体的な技術を習得し、3年次の教育実習(小)につなげる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 家庭科の目標や内容構成、家庭科の特徴など全体像を説明できる																	
目標2 家庭科の各分野の例示をふまえ、具体的に授業展開例を分析する。																	
目標3 家庭科の学習方法を習得し、授業を構想し、指導案として表現できる。																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 家庭科の目標・内容構成・教科の独自性																	
2 家庭科の指導方法・言語活動の取扱い																	
3 年間指導計画・観点別評価の観点																	
4 具体的な授業展開の分析1 : A 家庭生活と家族																	
5 具体的な授業展開の分析2 : B 日常の食事と調理の基礎(食育含む)																	
6 具体的な授業展開の分析3 : B 快適な衣服と住まい																	
7 具体的な授業展開の分析4 : C 身近な消費生活と環境 : 消費生活の課題と消費者市民教育																	
8 具体的な授業展開の分析5 : C 身近な消費生活と環境 : 環境に配慮した生活のくふう																	
9 指導技術1(全般)																	
10 指導技術2(おもにA・C分野)																	
11 指導技術3(おもに実験・実習)																	
12 単元のデザイン1 : 単元の指導計画の作成																	
13 単元のデザイン2 : 1単位時間の本時案の作成																	
14 模擬授業および本時案の改善1(A・C分野)																	
15 模擬授業および本時案の改善2(B分野)																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	布を使った製作実習、指導案作成、模擬授業、moodleの活用(フォーラム・アンケート機能・関連内容や資料のリンク紹介等)による意見交換や相互評価・自主的学習促進					工夫	その	小学校教諭をゲストティーチャーとして招聘し、現在の小学校現場における家庭科指導について講義してもらう。								
タイム	B:意見の表現・交換																
ディ	C:応用志向																
グ	D:知識の活用・創造																
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修	小学校の家庭科教科書・学習指導要領解説家庭編、テキストの講義該当箇所の予習(15h)															
	事後学修	小学校の家庭科教科書・学習指導要領解説家庭編、テキストの講義該当箇所の復習(15h) 学修 製作、指導案作成、模擬授業の練習(10h)															
教科書	中西雪夫・小林久美・貴志倫子共編「小中学校家庭科の授業をつくる - 5年間を見通すための理論・実践・基礎知識 - 」学術図書出版社(2023) 文部科学省 小学校学習指導要領解説 家庭編 平成29年6月、開隆堂 わたしたちの家庭科5・6																
参考書	伊藤葉子編著「新版 授業力UP 家庭科の授業」日本標準(2018), 勝田映子「小学校 家庭科授業 成功の極意」明治図書(2016), 小・中・高をつなげる試み 大分県の実践事例集 教育図書(2008), お茶の水女子大学附属学校家庭科研究会著「作る手が子どもたちを輝かす アクティブラーニングが育てるこれからの家庭科」地域教材社(2017), 文部科学省 小学校学習指導要領 平成29年3月告示																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	試験	50%															
	布を使った製作	20%															
	指導案・模擬授業	20%															
	各講義におけるアンケート等	10%															
割合	上記の評価項目について総合的に判断する。																
注意事項	製作や模擬授業にかかわる物品等については実費自己負担																
備考	取り扱う内容の順番が状況によって入れ替わることがある。 1年次「家庭(小)」で使用した小学校家庭科教科書も持参することがのぞましい。																
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	中学校・高等学校の家庭科教員（財津庸子・都甲由紀子）
実務経験を いかした教 育内容	実際の教育現場における指導経験や専門的知識・技能を、学校教育現場の理解に基づく指導のあり方や指導案等に活かす。